

プログラム

第 1 日目



2月9日(金) A会場(4F 41会議室)

開会挨拶

8:30~8:40

第28回日本間脳下垂体腫瘍学会会長 沖 隆

シンポジウム 1-1 ● 長期機能予後からみた頭蓋咽頭腫の治療戦略 1

8:50~10:00

座長：川俣 貴一(東京女子医科大学 脳神経外科)
中尾 直之(和歌山県立医科大学 脳神経外科)

- S1-1-1 長期機能予後からみた頭蓋咽頭腫に対する外科治療戦略
川俣 貴一(東京女子医科大学 脳神経外科)
- S1-1-2 頭蓋咽頭腫に対する CyberKnife 治療 - 分割回数による長期予後の検討 -
佐藤 健吾(日本赤十字社医療センター 脳神経外科 サイバーナイフセンター)
- S1-1-3 頭蓋咽頭腫に対するノバルリス治療の長期成績
矢野 茂敏(熊本大学大学院 生命科学研究部 脳神経外科分野)
- S1-1-4 中長期予後より見た小児頭蓋咽頭腫に対する手術戦略
小川 欣一(広南病院 臨床研究部)
- S1-1-5 頭蓋咽頭腫の経鼻的摘出術における下垂体機能の温存
北野 昌彦(富永病院 脳神経外科)

教育講演 1

10:15~11:05

座長：松野 彰(帝京大学 医学部 脳神経外科)

- EL1 WHO 2017 下垂体病理の主たる改訂点について
長村 義之(国際医療福祉大学大学院/日本鋼管病院 病理診断科)

教育講演 2

11:15~12:05

座長：平田結喜緒(公益財団法人兵庫県予防医学協会 健康ライフプラザ)

- EL2 遺伝性間脳下垂体疾患：ゴナドトロピン分泌異常を主に
緒方 勤(浜松医科大学 小児科)

ランチョンセミナー 1**12:15~13:15**

座 長：岩崎 泰正（高知大学 臨床医学部門）

LS1

成人重症 GH 分泌不全 160 例の治療経験から得た教訓
～ GHD 新規患者の発掘法と、長期維持期間中に生じる種々の問題点の解決策～池田 秀敏（総合南東北病院 下垂体疾患研究所／
東京クリニックアンチエイジング科学診療センター）

共催：日本イーライリリー株式会社

議事総会**13:25~13:55****研究奨励賞受賞講演****13:55~14:25**

座 長：西岡 宏（虎の門病院 間脳下垂体外科）

A-1

マクロプロラクチノーマに対するカベルゴリンによる長期治療成績 - 寛解に関連する因子の解析 -

渡邊 真哉（筑波大学 医学医療系 脳神経外科）

A-2

頭蓋咽頭腫の解剖学的細分類に基づいた積極的切除と治療成績

森迫 拓貴（大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科）

特別講演**14:30~15:30**

座 長：沖 隆（浜松医科大学 地域家庭医療学）

SL

間脳下垂体疾患研究の歴史と展望

井村 裕夫（京都大学 名誉教授）

招待講演 1**15:35~16:35**

座 長：山田 正三（虎の門病院 間脳下垂体外科）

IL1

Endoscopic Pituitary Surgery:
Lessons Learned in Maximizing Resection & Complication Avoidance

Daniel F. Kelly (Pacific Neuroscience Institute, Santa Monica, CA, USA)

イブニングセミナー**17:10~18:10**座 長：島津 章（独立行政法人国立病院機構京都医療センター
臨床研究センター）

EVS

The IGF axis in diabetes and acromegaly: correlations between IGF-I and symptoms

David Clemmons (Medicine Division of Endocrinology & Metabolism, Department of Medicine,
University of North Carolina School of Medicine Chapel Hill, NC, USA)

共催：ファイザー株式会社

2月9日(金) B会場(4F 43・44会議室)

シンポジウム 2 ● 小児間脳下垂体腫瘍経験者のフォローアップにおける問題点

8:40~10:25

座長：伊藤 純子(虎の門病院 小児科)

藍原 康雄(東京女子医科大学 脳神経外科)

S2-OR Opening Remark

伊藤 純子(虎の門病院 小児科)

S2-1 小児間脳下垂体部腫瘍患児の長期フォローアップ臨床像

藍原 康雄(東京女子医科大学 脳神経外科)

S2-2 小児間脳下垂体疾患のMRIについて

藤澤 一朗(市立岸和田市民病院 放射線科)

S2-3 小児間脳下垂体腫瘍経験者のQOL

藤澤 泰子(浜松医科大学 医学部 小児科)

S2-4 若年発症プロラクチノーマの治療戦略：長期Cabergoline治療の有効性、安全性

小野 昌美(東京クリニック 内分泌代謝科)

S2-5 長期予後を考慮したoptic pathway gliomaに対する治療戦略

山崎 文之(広島大学病院 脳神経外科)

S2-6 小児頭蓋咽頭腫のフォローアップにおける問題点

西澤 茂(産業医科大学 医学部 脳神経外科)

シンポジウム 3 ● 発生機序に基づく下垂体腫瘍診療の展望(内科的・外科的視点)

10:25~12:10

座長：蔭山 和則(弘前大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科学講座)

富永 篤(県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科)

S3-OR Opening Remark

蔭山 和則(弘前大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科学講座)

S3-1 下垂体腫瘍に対する新規治療標的

館野 透(アルバータ大学 医学部 内分泌代謝内科)

S3-2 発生機序に基づく下垂体腫瘍診療の展望(外科的視点)

西岡 宏(虎の門病院 間脳下垂体外科)

S3-3 下垂体腺腫発生に関わる分子学的異常の理解と診療への応用

福岡 秀規(神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

S3-4 Oculomotor cistern から頭蓋内に進展する下垂体腺腫に対する開頭経鼻同時手術の応用

登坂 雅彦(群馬大学 医学部 脳神経外科)

S3-5 非機能性腺腫に対する腫瘍形態に基づいた摘出戦略

石井 雄道 (東京慈恵会医科大学 脳神経外科)

S3-6 手術症例における RCC と macroadenoma 合併の検討 ～ Prospective study ～

池田 秀敏 (総合南東北病院 下垂体疾患研究所/新百合ヶ丘総合病院)

ランチョンセミナー 2

12:15~13:15

座 長：山田 正信 (群馬大学大学院 医学系研究科 内科学講座
内分泌代謝内科学分野)

LS2 中枢性尿崩症と SIADH の診断と治療

有馬 寛 (名古屋大学大学院 医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学)

共催：ヤマサ醤油株式会社

シンポジウム 4 ● 局在同定困難なクッシング病の診断と治療

15:40~17:10

座 長：柳瀬 敏彦 (福岡大学 医学部 内分泌・糖尿病内科)

西澤 茂 (産業医科大学 医学部 脳神経外科)

S4-1 MRI による ACTH 産生微小下垂体腺腫の診断

黒崎 雅道 (鳥取大学 医学部 脳神経外科)

S4-2 局在診断困難な ACTH 依存性 Cushing 症候群の内科的コントロール方針

山下 美保 (浜松医科大学 第二内科)

S4-3 3 テスラ時代のクッシング病の MRI 診断

福原 紀章 (虎の門病院 間脳下垂体外科/
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 包括病理学分野)

S4-4 MRI 陰性クッシング病に対する静脈洞サンプリング、4D-CT の有用性

齋藤 洋一 (大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経機能再生学/
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科)

S4-5 Big ACTH 測定による局在同定困難な Cushing 病診断の新規アルゴリズム

片上 秀喜 (今里胃腸病院 内科)

S4-6 微小 ACTH 産生下垂体腺腫の治療成績 - 局在同定困難な症例の診断と治療 -

田原 重志 (日本医科大学 脳神経外科)

2月9日(金) C会場(5F 53・54会議室)

一般口演1 ● 神経膠腫

8:40~9:20

座長：大山 健一(帝京大学 医学部 脳神経外科/
下垂体・内視鏡手術センター)

- O1-1 下垂体後葉グリア系腫瘍の臨床的特徴と治療成績
永田 雄一(名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科)
- O1-2 頭蓋咽頭腫との鑑別に苦慮した chordoid glioma の1例
御神本雅亮(虎の門病院 間脳下垂体外科)
- O1-3 クッシング病に対するコバルト線源を用いたガンマ線照射治療から44年後に発症した radiation-induced glioblastoma の一例
柘津 昌広(東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科)
- O1-4 thalamic glioma の治療成績
亀田 雅博(岡山大学大学院 脳神経外科)
- O1-5 第三脳室内に腫瘤を形成する視床発生の神経膠腫に対する治療戦略
丸山 隆志(東京女子医科大学 脳神経外科)

一般口演2 ● 胚細胞腫瘍

9:20~9:55

座長：杉山 一彦(広島大学病院 がん化学療法科)

- O2-1 松果体部腫瘍における胚種の臨床的特徴と診断予測因子
井上 明宏(愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科)
- O2-2 左眼失明まで至った Germinoma の一例
尾崎 航(千葉大学 医学部 脳神経外科)
- O2-3 基底核部胚細胞腫瘍経験者の治療およびフォローアップに於ける問題点
千葉謙太郎(東京女子医科大学 脳神経外科)
- O2-4 VP シヤントが行われた頭蓋内胚細胞性腫瘍症例の検討
喜多 大輔(横浜栄共済病院 脳神経外科/金沢大学 脳神経外科)

一般口演3 ● 術前検査

9:55~10:35

座長：永谷 哲也(名古屋第二赤十字病院 脳神経外科)

- O3-1 MRA による内頸動脈バルーン閉塞試験の結果予測
福原 紀章(虎の門病院 間脳下垂体外科/
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 包括病理学分野)

- O3-2 視神経管部における視神経走行偏位は術前視力障害に関連する
山口 玲 (群馬大学 医学部 脳神経外科)
- O3-3 超高精細 CT による経蝶形骨洞手術に必要な微細構造の術前評価
西山 悠也 (藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科)
- O3-4 下垂体腺腫術前検査における 3D dynamic 撮影の有用性について
山城 慧 (藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科)
- O3-5 下垂体腺腫患者における術前光干渉断層計 (OCT) 解析
五島 久陽 (山口大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学分野)

一般口演 4 ● 先端巨大症：手術療法

10:45~11:25

座長：田村 哲郎 (新潟県立中央病院 脳神経外科)

- O4-1 成長ホルモン産生性腺腫における追加治療として再手術の意義とその長期予後
林 康彦 (金沢大学 脳神経外科)
- O4-2 先端巨大症術後コントロール群における代謝パラメーターの変化
- 新基準による治癒を目標にすべきか -
米永 理法 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学)
- O4-3 成長ホルモン産生下垂体腺腫に対する神経内視鏡下経鼻的手術
谷岡 大輔 (昭和大学横浜市北部病院 脳神経外科)
- O4-4 コントロール不良成長ホルモン産生腫瘍に対する経鼻内視鏡再手術の有効性
竹内 和人 (名古屋大学大学院 脳神経外科)
- O4-5 アクロメガリーに対する手術治療の進歩
天野 耕作 (東京女子医科大学 脳神経外科)

一般口演 5 ● クッシング病 1 (外科)

11:25~12:00

座長：天野 耕作 (東京女子医科大学 脳神経外科)

- O5-1 Cushing 病小児 16 例の臨床像
向山 祐理 (虎の門病院 小児科)
- O5-2 術中 MRI が有用であったクッシング病の一例
小川 大輔 (香川大学 医学部 脳神経外科)
- O5-3 Cushing 病に対する TSS 後、内分泌学的改善が得られず短期で再手術に至った 3 例の検討
石崎 友崇 (名古屋大学 医学部 脳神経外科)
- O5-4 腫瘍の局在診断に苦慮した症候性 ACTH および GH 産生性重複下垂体腺腫の 1 例
伊藤 裕平 (福島県立医科大学 医学部 脳神経外科学講座)

ランチョンセミナー 3

12:15~13:15

座 長：寺本 明 (独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院)

LS3 先端巨大症の病態と治療について

西岡 宏 (虎の門病院 間脳下垂体外科)

共催：帝人ファーマ株式会社

一般口演 6 ● 嚢胞性疾患

15:40~16:20

座 長：石井 尚登 (順天堂大学医学部附属浦安病院 脳神経外科)

O6-1 妊娠後期に症状増悪した下垂体嚢胞性腫瘍の1例

鈴木 幸二 (横浜医療センター 脳神経外科)

O6-2 長期の経過を追跡しえた鞍上部コロイド嚢胞の1例

宇野 豪洋 (金沢大学 脳神経外科)

O6-3 当院における再発ラトケ嚢胞に対する治療経験

西村 文彦 (奈良県立医科大学 脳神経外科)

O6-4 ラトケのう胞の手術における再発予防方法

大橋元一郎 (晃友脳神経外科眼科病院 脳神経外科)

O6-5 嚢胞性下垂体偶発腫の治療指針

大山 健一 (帝京大学 医学部 脳神経外科/下垂体・内視鏡手術センター)

一般口演 7 ● 手術手技

16:20~17:00

座 長：吉本 幸司 (九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科)

O7-1 内視鏡下経鼻手術における脳神経外科医2人による4 hands endoscopic surgeryの有用性

森迫 拓貴 (大阪市立大学 医学部 脳神経外科)

O7-2 傍鞍部髄膜腫に対する拡大経蝶形骨法における両側視神経管開放の有用性

森田 寛也 (社会医療法人寿会富永病院 脳神経外科)

O7-3 脳幹腹側傍正中中部病変に対する拡大経鼻手術

久貝 宮仁 (社会医療法人寿会富永病院 脳神経外科)

O7-4 Trans-lamina terminalis approachによる第三脳室内病変摘出時における前交通動脈切断に関する検討

神宮字伸哉 (福島県立医科大学 脳神経外科)

O7-5 頭蓋内進展を伴う悪性副鼻腔腫瘍に対する一期的開頭および経鼻的腫瘍摘出術の有効性

廣畑 倫生 (帝京大学 医学部 脳神経外科)

2月9日(金) D会場(2F 22・23会議室)

一般口演 8 ● 画像検査

8:40~9:15

座長：登坂 雅彦(群馬大学 医学部 脳神経外科)

- O8-1 鞍上部伸展を伴う非機能性下垂体腺腫の血流動態
伊藤美以子(山形大学 医学部 脳神経外科)
- O8-2 3D black blood VISTA を用いた海綿静脈洞内側壁の評価
新妻 邦泰(東北大学大学院 医学系研究科 神経外科学分野)
- O8-3 嚢胞内結節を伴う症候性/無症候性ラトケ嚢胞の検討
高砂 浩史(聖マリアンナ医科大学 脳神経外科)
- O8-4 自然消退ならびに著しく縮小した鞍上部嚢胞性腫瘤症例
井上 侑子(大阪市立総合医療センター 内分泌内科)

一般口演 9 ● 下垂体機能低下症 1

9:15~9:55

座長：中川 淳(金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学)

- O9-1 ACTH 単独欠損症の臨床的特徴と血清コルチゾール値との関連
魚田 晃史(公益財団法人日本生命済生会附属日生病院 糖尿病・内分泌センター/
公益財団法人日本生命済生会附属日生病院 総合内科)
- O9-2 特発性中枢性尿崩症に PRL 単独欠損症を合併した一例
津田 悠三(神戸大学 医学部 糖尿病・内分泌科)
- O9-3 ニボルマブ投与中に下垂体機能低下症を発症した2例
大川 雄太(浜松医科大学 第二内科)
- O9-4 中枢性尿崩症にて発症した成人多臓器多発型ランゲルハンス組織球症の1例
武石 剛(宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野)
- O9-5 汎下垂体機能低下症にて発症し経過中に脳実質内多発性造影病変を合併したランゲルハンス組織球症の1例
玉井 翔(石川県立中央病院 脳神経外科)

一般口演 10 ● 下垂体機能低下症 2

10:00~10:35

座長：飯野 和美(磐田市立総合病院 糖尿病・内分泌内科)

- O10-1 IgG4 関連下垂体炎の1例
兒玉 邦彦(長野市民病院 脳神経外科)

- O10-2 診断に苦慮した下垂体炎の1例
長谷川貴俊 (信州大学 医学部 脳神経外科)
- O10-3 高次脳機能障害をきたした視床下部炎に対してステロイドが奏功した1例
木村しほり (東京女子医科大学病院 高血圧・内分泌内科)
- O10-4 下垂体腫大を呈した甲状腺機能低下症の2症例の検討
川出 茂 (鹿児島大学大学院 糖尿病・内分泌内科)

一般口演 11 ● 下垂体機能低下症 3

10:40~11:20

座 長：亀田 亘 (山形大学 医学部 第三内科)

- O11-1 MRI 拡散強調画像にて下垂体膿瘍と診断加療した一例
池田 充 (淀川キリスト教病院 脳神経外科)
- O11-2 内視鏡下経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出後の下垂体前葉機能回復
米岡有一郎 (新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター 脳神経外科)
- O11-3 術前診断と手術アプローチの選択に苦慮した小児鞍部・鞍上部腫瘍の一例
樋口 真也 (高知大学 医学部 脳神経外科)
- O11-4 下垂体腫瘍に合併した成人成長ホルモン分泌不全症に対するホルモン補充療法により肝機能の改善を認めた非アルコール性脂肪肝炎の一例
福井 彩子 (名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)
- O11-5 下垂体機能低下症、尿崩症を呈した MTX 関連リンパ増殖性疾患の1例
青島 美咲 (浜松医療センター 内分泌代謝内科)

一般口演 12 ● 先端巨大症：薬物療法 1

11:25~12:00

座 長：竹下 彰 (虎の門病院 内分泌代謝科)

- O12-1 パシレオチドによる難治性先端巨大症の治療経験
山王 直子 (山王クリニック/日本医科大学 脳神経外科/帝京大学 医学部 脳神経外科)
- O12-2 パシレオチドを投与した GH 産生下垂体腺腫症例における耐糖能障害に関する検討
加藤 創生 (虎の門病院 内分泌代謝科)
- O12-3 先端巨大症に対する pegvisomant の長期使用経験
須崎 法幸 (独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)
- O12-4 フレイルの予防や既往歴を考慮して治療した高齢者先端巨大症の1例
関 康史 (東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科)

- O13-1 アピキサバン内服中に下垂体卒中を発症した二例
橋本 和敏（東京女子医科大学 脳神経外科）
- O13-2 下垂体卒中後に著明な低ナトリウム血症を呈した一例
大屋 有夏（名古屋大学医学部附属病院）
- O13-3 大腸がんに対する bevacizumab 投与後に下垂体卒中を来した一例
佐藤 祐介（福島県立医科大学 脳神経外科）
- O13-4 下垂体卒中の臨床学的特徴と治療成績
福井 崇人（中村記念病院 脳神経外科）